

## (6) 研究指導計画

### 【研究指導の流れ】

博士前期課程における、修士学位取得までの研究指導の流れは、以下のとおりです。

年次	時期	内容
1 年次	4 月	研究科のガイダンスにおいて、研究倫理についての指導を受け、研究科委員長から大学院の学びの概要、各専攻科において今後の研究計画についての指導を受ける。教育研究指導計画書を提出する。指導教員が担当する科目を履修するとともに、適切な授業科目を指導教員の助言を受けて決定し、履修する。
	9 月	個別の研究テーマに基づく研究の進捗状況について報告し、指導教員の確認を受ける。
	1 月～2 月	2 年次に向けての研究について指導教員の面接指導を受け、研究科委員会に対して「研究指導計画書」を作成する。
2 年次	4 月	1 年次に引き続き、指導教員が担当する科目を履修し、指導教員から研究計画について指導を受ける。「研究指導計画書」を提出する。
	5 月	各専攻主催による修士論文構想発表会を行う。
	10 月～11 月	各専攻科主催による修士論文中間報告会で発表する。
	11 月	修士論文題目決定届を提出する。
	1 月	修士論文の提出
	2 月	審査委員による口頭試問を含む最終試験を実施する。その結果に基づき研究科委員会が可否を決定する。
	3 月	学位の授与

## (6) 研究指導計画

### 【研究指導の流れ】

博士後期課程における、博士学位取得までの研究指導の流れは、以下のとおりです。

年次	時期	内容
1 年次	4 月	指導教員による個別面談を行ったうえで 1 年次研究計画を決定する。 また、指導教員が担当する科目を履修する。
	9 月	個別の研究テーマに基づく研究の進捗状況について報告し、指導教員の確認を受ける。
	10 月～11 月	各専攻主催による博士論文構想発表会を行う。
	2 月	2 年次に向けての研究について、指導教員の面接指導を受け、研究科委員会に対して、「後期課程研究報告書」を提出する。
2 年次	4 月	1 年次に引き続き、指導教員が担当する科目を履修し、指導教員から研究指導計画に基づき指導を受ける。
	9 月	個別の研究テーマに基づく研究の進捗状況について報告し、指導教員の確認を受ける。
	10 月～11 月	各専攻主催による博士論文構想発表会を行う。
	2 月	3 年次に向けての研究について、指導教員の面接指導を受け、研究科委員会に対して、「後期課程研究報告書」を提出する。
3 年次	4 月	指導教員から研究指導計画に基づき指導を受ける。 また、指導教員が担当する科目を履修する。
	10 月	指導教員に博士論文を提出する。 研究科委員会主催による研究報告会で発表する。
	11 月	予備審査の手続きに入る
	12 月	公開説明会の開催、学位申請の手続き 研究科委員会は学位申請書の受理の可否を審議する。
	1 月	本審査、最終試験を実施する。
	2 月	その結果に基づき研究科委員会は学位授与の可否を審議決定する。
	3 月	学位の授与